

公表

## 児童発達支援・事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立サポーターセンターつぼみ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月 15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関との連携体制の強化	細かな配慮が出来るよう対応には十分気を付けている 目標共有や各所からの情報の収集	必要に応じてケース会議を開催したり、就学までのスケジュール等保護者様の不安解消につながる提案やサポートを充実させる
2	少人数における行き届いた細やかな支援 落ち着いた静かな環境を提供でき、過ごしやすい事業所	お子様の成長に合わせて支援の内容や、その日の体調や気持ちに合わせて臨機応変な対応が出来るよう配慮している  就学へ向けた準備・取組みの強化	専門的な支援の提供が出来る状況にない為、保護者のニーズに応えられないことがある(言語等)
3	個々に合った支援の徹底 特性があるお子様が安心して過ごせる場の提供	一人一人の小さな「できた!」を認めて共に喜び、それぞれの成長に寄り添う意識を持って支援に取り組んでいる	集団活動の中でのそれぞれ個々のニーズや課題に対する支援の質の維持が難しい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか について「分からない」の回答が多かった。	実施や体制の見える化が不十分であることが考えられる	取組みを実感してもらうためのツールを工夫する必要がある
2	全体的に「分からない」の回答が多く、説明・周知の不足を感じる	お子様が取り組んでいることに対する興味や関心を促すような声掛けや周知・関りが不足していると感じる。	ホームページの活用 面談の積極的な促し
3	保護者同士の繋がりを持てる機会の提供	本人支援と保護者支援のバランス	